

ゲルタイム自動測定装置

簡単操作でデータ収集

西邦産業

化学品および関連機器
商社の西邦産業は、新しいゲルタイム自動硬化時間測定装置の市場展開に乗り出す。ゲルタイムは熱硬化性樹脂を攪拌し、ゲル化するまでの時間を示す。樹脂メーカーでは

通常、樹脂を攪拌するトルクと時間を計測し、トルクの測定値を超えた時間をゲルタイムとして判定する。エポキシ樹脂、フェノール樹脂、メラミン樹脂、尿素樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、ア

ルキド樹脂、ポリウレタン、熱硬化性ポリイミドなどに使用できる。化学業界などでは現場の測定者が手動で計測するケースが多い。しかし、手動測定法では測定者の違いや日本工業規格

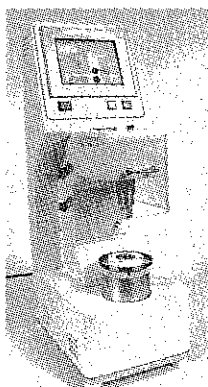
(JIS)や世界基準(IPC)規格のあいまいさで、測定結果に誤差が発生する可能性が指摘されている。

こうした問題に対し、サイバー社は1987年に硬化状態をトルクとして検出する自動測定装置を開発し、顧客に提供してきた。西邦産業は91年からサイバー社の自動硬化時間測定装置の販売代理店として、サイバー社と連携し実績を積み上げている。

製品の高品質化ならびに厳格な品質保証体制を求められるなか、サイバー社は従来機種的大幅な

改良が不要で、誰が行っても同じデータが得られ、高速温度制御により熱板が測定温度に到達するまで3分以内を実現し、作業の効率性を向上させた。

試料の吸熱による温度低下を数十秒以内で補正し、不使用時には自動でヒータが停止もする。また、PCソフトウェア(MADOKAツール)を使用した、データベース管理やデータ解析ができ、統計的品質管理機能(SPC, SQC)で樹脂などの品質管理も可能となる。



樹脂に
シノどる
キエなき
ポフ樹脂で
工や樹脂用

2軸偏心の攪拌方法の実現で、手動測定法と相関性のあるデータが得られること。また操作に熟

練が不要で、誰が行っても同じデータが得られ、高速温度制御により熱板が測定温度に到達するまで3分以内を実現し、作業の効率性を向上させた。

試料の吸熱による温度低下を数十秒以内で補正し、不使用時には自動でヒータが停止もする。また、PCソフトウェア(MADOKAツール)を使用した、データベース管理やデータ解析ができ、統計的品質管理機能(SPC, SQC)で樹脂などの品質管理も可能となる。

製品の高品質化ならびに厳格な品質保証体制を求められるなか、サイバー社は従来機種的大幅な

改良が不要で、誰が行っても同じデータが得られ、高速温度制御により熱板が測定温度に到達するまで3分以内を実現し、作業の効率性を向上させた。